

【記載例】

※申請時の書類は、全て黒字で記載してください。

様式第1号（第5条関係）

令和3年度愛媛県介護ロボット導入支援事業費補助金交付申請書

事業所ごとではなく、法人単位で
とりまとめた申請となります。

〇〇第〇〇号

令和3年7月10日

愛媛県知事 中村 時広 様

7月30日（金）までに
ご提出ください。

住 所 松山市〇〇町〇丁目〇-〇
事業主体名 社会福祉法人〇〇〇〇〇
代表者職氏名 理事長 〇〇 〇〇 印

令和3年度において標記事業を下記のとおり実施したいので、令和3年度愛媛県介護ロボット導入支援事業費補助金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

別紙（1）のF欄の合計額と
一致します。

- | | | | | |
|---|-----------------------------|-------|-----------|---|
| 1 | 交付申請額 | 金 | 4,250,000 | 円 |
| 2 | 補助金所要額調書 | 別紙（1） | のとおり | |
| 3 | 事業所別補助金所要額調書 | 別紙（2） | のとおり | |
| 4 | 収支予算書 | 別紙（3） | のとおり | |
| 5 | 介護ロボット導入等計画 | 別紙（4） | のとおり | |
| 6 | 見積書写し | | | |
| 7 | 介護保険法に基づき指定又は許可を受けたことを証する書類 | | | |
| 8 | その他参考となる資料 | | | |

介護ロボット：パンフレット
通信環境整備：施設の図面（見守り機器・アクセスポイントの設置位置、Wi-Fiエリア）等、整備する内容が分かるもの

【問い合わせ先】

〒〇〇〇 - 〇〇〇〇

〇〇県〇〇市〇〇町〇番地

〇〇〇法人〇〇〇事業所 〇〇〇

電 話 〇〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇〇

メールアドレス 〇〇〇〇〇@〇〇〇

【記載例】

※申請時の書類は、全て黒字で記載してください。

別紙（１）（様式第１号関係）

補助金所要額調書

	事業所名 (サービス種別)	(1)介護ロボットの製品名 (2)見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費内容	補助対象額	A×補助率	補助限度額 (1) (1機器当たり) (2) (1事業所当たり)	補助基本額 (B、Cのいずれか少ない額)	所要台数	補助金所要額 (1) (D×E) (2) (Dの額)
			A	B	C	D	E	F
(1) 介護ロボット	〇〇〇〇事業所 (介護老人保健施設)	〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇	円 340,000	円 255,000	円 300,000	円 255,000	台 5	円 1,275,000
	△△△△事業所 (認知症対応型共同生活介護)	〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇	円 340,000	円 170,000	円 170,000	円 170,000	台 10	円 1,700,000
	××××事業所 (通所介護)	×××××××× ×-×	円 700,000	円 350,000	円 300,000	円 300,000	台 1	円 300,000
(2) 通信環境整備	〇〇〇〇事業所 (介護老人保健施設)	Wi-Fi 設備 インカムの導入	円 1,300,000	円 975,000	円 7,500,000	円 975,000		円 975,000
					円 7,500,000			
					円 7,500,000			
合計			円 -	円 -	円 -	円 -	台 -	円 4,250,000

- (注) 1 B欄の補助率は、別紙（４）で選択した補助率（3/4又は1/2）とすること。
 2 (1)介護ロボットC欄は、移乗介護及び入浴支援は1,000,000円、それ以外は300,000円とすること。
 3 F欄は、1,000円未満の端数が生じたときは、切り捨てること。
 4 行が足りない場合は、適宜、行を追加すること。

【記載例】

※申請時の書類は、全て黒字で記載してください。

別紙（２）（様式第１号関係）

事業所別補助金所要額調書

(単位：円)

事業所名	サービス種別	・介護ロボットの製品名 ・見守り機器の導入に伴う通信 環境整備に係る経費内容	補助金所要額 (別紙(1)F欄の額)
〇〇〇〇事業所	介護老人保健施設	〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇	1,275,000
		Wi-Fi 設備 インカムの導入	975,000
小 計			2,250,000
△△△△事業所	認知症対応型共同生活介護	〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇	1,700,000
小 計			1,700,000
××××事業所	通所介護	×××××××× ×-×	300,000
小 計			300,000
小 計			
合 計			4,250,000

(注) 行が足りない場合は、適宜、行を追加すること。

【記載例】

※申請時の書類は、全て黒字で記載してください。

別紙（3）（様式第1号関係）

収 支 予 算 書

1 収入の部

区分	予算額（円）	備考
県補助金	4,250,000	
事業者負担額	2,850,000	
寄付金その他の収入額		
計	7,100,000	

(注) 補助金、自己資金等の財源ごとに記載すること。

2 支出の部

区分	予算額（円）	備考
工事費 (見守り機器導入に伴う通信環境 整備のための配線工事の場合)	1,000,000	Wi-Fi配線工事
備品購入費 (購入の場合)	6,100,000	インカム 15,000円×20台 介護ロボット 340,000円×15台 700,000円×1台
使用料及び賃借料 (リース・レンタルの場合)		
計	7,100,000	

(注) 補助対象とする支出予定の科目ごとに記載すること。
区分欄は、適宜、項目を追加すること。
備考欄には、必要に応じて経費の内訳を記載すること。

別紙（4）（様式第1号関係）

【記載例】

※申請時の書類は、全て黒字で記載してください。

介護ロボット導入等計画

介護ロボットごとに作成すること

事業主体名（法人名等）		社会福祉法人〇〇〇〇〇				
介護サービス事業所名		〇〇〇〇事業所				
事業所のサービス種別		介護老人保健施設				
適用を受けようとする補助率(該当に○を記入)		3 / 4 ・ 1 / 2				
介護ロボット	介護ロボットの製品名	〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇	介護ロボットの種別 (注)1 見守り			
	導入台(セット数)数	5 台 (セット)				
	購入又はレンタル・リースの別	購入	<table border="1"> <tr> <td>購入(予定)時期</td> <td>令和 3年 11月</td> </tr> <tr> <td>リース・レンタルの契約(予定)期間</td> <td>令和 年 月 から 令和 年 月 まで</td> </tr> </table>	購入(予定)時期	令和 3年 11月	リース・レンタルの契約(予定)期間
購入(予定)時期	令和 3年 11月					
リース・レンタルの契約(予定)期間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで					
通信環境整備	通信環境整備内容	Wi-Fi配線工事、インカムの導入				
	購入又はレンタル・リースの別	購入	<table border="1"> <tr> <td>購入(予定)時期</td> <td>令和 3年 10月</td> </tr> <tr> <td>リース・レンタルの契約(予定)期間</td> <td>令和 年 月 から 令和 年 月 まで</td> </tr> </table>	購入(予定)時期	令和 3年 10月	リース・レンタルの契約(予定)期間
購入(予定)時期	令和 3年 10月					
リース・レンタルの契約(予定)期間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで					
導入スケジュール		<p>※機器の導入に伴う事項（職員向け研修、利用者・家族への説明、フォローアップ研修等）とその時期（平成〇年〇月）を記載すること。</p> <p>(例)</p> <p>令和3年10月 Wi-Fi配線工事及びインカムの導入 令和3年11月 介護ロボット〇〇〇〇〇〇〇の導入 令和3年11月 介護ロボットとWi-Fiの連動作業 令和3年11月 職員向け研修の実施 令和3年11月 利用者・家族への説明、同意を得る 令和3年12月 運用開始 令和4年 2月 職員向けフォローアップ研修</p>				
介護ロボット導入等により達成すべき目標（3年間目途）		<p>※職場環境や介護従事者に関する現状・課題と、機器の導入による目標（可能であれば数値を含めて）について記載すること。</p> <p>(例)</p> <p>入所定員〇〇名に対し常時見守りが必要な利用者〇〇名は、特に転倒リスク</p>				

【記載例】

※申請時の書類は、全て黒字で記載してください。

	<p>が高く、○時間に1回の巡回に加え、さらに○時間に1回の巡回を行っている状態である。見守り機器を導入することで、追加の巡回を止め、定期巡回も○時間に1回とし、計○回行っている巡回を○%減らし、転倒事故を月平均○回から○回（○%減）にする。</p> <p>また、見守り機器を活用するための通信環境整備を行い、離れた場所でも複数の利用者の状態把握を可能にし、併せてインカムを活用することで、職員間のコミュニケーションが図れ、無駄な動きを低減し、介護能率の30%向上を目指す。</p>
介護ロボット導入等により期待される効果等	<p>※機器導入による効果等（介護時間の短縮、負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等）を記載すること。</p> <p>（例）</p> <p>通信環境の整備により離れた場所でも見守り機器を設置した複数の利用者の状況把握ができるとともに、ベッドからの起き上がりを感知した際には、職員が離床前に訪室でき、転倒事故等を防ぐことができる。また、利用者の状況の見える化により、睡眠を妨げることなく利用者の状態に応じた居室への見回りが可能で、利用者の満足度に繋がる。インカムで常に連絡を取り合うことで、介護者の無駄な動きが減り、身体的・精神的な負担の軽減につながる。</p> <p>さらに、介護ロボットから蓄積される利用者の情報をデータ化し、個々のケア計画に活用することで、介護の質の向上につながる。</p>
備考 (注) 2	※下記の注意事項2を参照に記載すること。

(注) 1 移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援 のいずれかを選択すること。

2 備考欄には、実施要綱第5条第4項に定める「安全性の確保」、「フォローアップ体制」、「利用者への説明（倫理面への配慮）」等に関する取組（予定）を記載すること。

以下は、補助率「3/4」の適用を受けようとする場合のみ記入すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

※本計画の見込みの人員体制と実績が異なった場合は、実績報告時にその理由を報告すること。報告内容は、県から国へ報告します。

《要件1》

少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを導入し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うことを予定している

【記載例】

※申請時の書類は、全て黒字で記載してください。

従前の介護職員等の人員体制	<p>※現在の人員体制を記載すること。</p> <p>(例)</p> <p>入所者〇人に対し 介護職員：日中〇人、夜間〇人 看護職員：日中〇人、夜間〇人</p>
介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	<p>※介護ロボット等の導入後の人員体制及び人員体制の効率化に関する取組（具体的に）を記載すること。</p> <p>(例)</p> <p>入所者〇人に対し 介護職員：日中〇人、夜間〇人 看護職員：日中〇人、夜間〇人</p> <p>人員体制の効率化に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り機器を活用し、システム上での利用者の状態の見える化により、定期巡回を〇削減らす ・介護職員がタブレットによる介護記録システムの活用を図り、事務所に戻ることなく、その場でその都度介護記録の入力や利用者情報を閲覧することで、記録時間等の短縮を図る ・見守り機器やナースコールの情報を介護記録システムへ自動で記録し、介護職員は簡単な入力作業にすることで、記録時間の短縮と職員間での利用者情報のスムーズな共有を図る ・インカムの活用し、離れた場所での職員間の情報共有やコミュニケーションを図り、利用者に対し効率的な支援を行う
<p>《要件2》</p> <p>利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している</p>	
利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	<p>※取組内容について、具体的に記載すること</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各介護職員の業務手順を見直し、業務量の多い時間帯から少ない時間帯への調整や介護記録システムの導入による記録業務の時間短縮により、〇時間の残業時間の削減や〇時間の休憩時間を確保し、介護職員の身体的・精神的な負担軽減を図る。 ・介護ロボット委員会を月1回開催し、使用状況やヒヤリハットを検証し、利用者のケアの質の向上を図るとともに、介護職員の身体的・精神的な負担の軽減を図る